梁瀬・和田山医療センター連携検討会議「報告書」
への意見・提言（パブリックコメント）募集結果

平成２３年２月７日（月）から２８日（月）にかけて実施した「報告書」への意見・提言（パブリックコメント）を募集したところ、１１名の方からご意見・提言をいただきました。

つきましては、いただいたご意見・提言の概要とそれらに対する病院組合の考え方を公表します。

今回いただきましたご意見・提言は、病院組合の今後の取組の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

１．パブリックコメントの実施状況

（１）募　集　期　間　　平成２３年２月７日（月）から２月２８日（月）

（２）応　募　者　数　　１１名

（３）提出方法の内訳

	郵送	持参	ＦＡＸ	Ｅメール	計
人　数	０	７	２	２	１１

２．意見の概要と病院組合の考え方

No.	意見・提言の概要	意見・提言に対する病院組合の考え方
１	・梁瀬・和田山医療センターを統合した１５０床規模の病院新設議論が進められているが、無駄はやめてほしい。 ・医療に関しては、医師の確保が一番重要であり、近くに八鹿病院という箱モノは立派だが基準定員の半数位しか確保できていない良いお手本がある。 医師不足は新医師臨床研修制度が出来てから表面化したので、昔のように大学病院が人事権を持って医師の配置をすることや国公立の医学部卒業生に卒業後１０年程度の地方勤務を義務化して欲しい。	・報告書では、梁瀬・和田山医療センターの２ヶ所で医療を提供するより、医療資源を１ヶ所に集約して効率的な医療の提供体制を整える方が、より診療機能の充実を図ることができるとの考えから、両医療センターを統合した病院の整備が必要であるとされています。 ・医師確保については、病院組合としても大変重要であると認識しており、引き続き医師の確保に向けて努力していきます。 また、僻地の医師不足の解消を図るため、全国の公立病院が一緒になって、国へ要望しているところです。
２	・人口が減っても高齢化により病院利用者は増えていくことが予想される	・両医療センターを統合した病院については、人口動向や患者数などの将来的

	ため、５年・１０年後にも対応できる器を作っておくことや、梁瀬医療センターを有床診療所として残しておくことが必要となってくる。	な予測を踏まえ検討していきます。 なお、医療資源の集約化を図る必要があることから両医療センターを統合することとしております。
3	・近くに病院があれば、地域住民にとって安心であるが、大切なのは病院という箱よりも中身である。 中身である良い医師と良い医療機器にはお金がかかるが、市民から別途税金を集めてでも、両病院は存続すべきである。	・報告書では、梁瀬・和田山医療センターの２ヶ所で医療を提供するより、医療資源を１ヶ所に集約して効率的な医療の提供体制を整える方が、より診療機能の充実を図ることができるとの考えから、両医療センターを統合した病院の整備が必要であるとされてるのでご理解願います。
4	・２つの医療センターを統合して効率的な運用を図ることには賛成だが、早急にではなく、時期を見るべきである。 ・専門医ではなく、総合医の養成が望まれる。 ・赤字経営は許されないので、民間を参考にすべきである。 ・安易な病院利用を抑制するための教育や指導普及を行ってはどうか。 ・患者の医療機関への交通の便については、豊岡市が出石で行っている乗合タクシーが参考になる。	・両医療センターの統合については、建設場所や財政面など様々な課題への検討を行い、適切な時期に行いたいと考えています。 ・兵庫県からの派遣医師は総合医として養成しており、引き続き派遣要請を行っています。 ・公立病院は採算性の面から民間が参入しない診療科や地域での医療を提供しており、民間病院に比べ経営的に厳しい環境にありますが、病院の運営にあたって効率的な経営に務めていきます。 ・今後も安易な病院利用抑制の普及啓発を行政と協力して、行っていきたいと考えています。 ・医療機関への交通の便については、朝来市と協力をして進めたいと考えています。
5	・２つの医療センターを１つにして新病院を建設することには賛成である。 ・新病院建設に際しては、医師の確保を確実に行って欲しい。 ・北但には但馬救命救急センターがあるが、南但では和田山・梁瀬・八鹿病院に断られ神崎総合病院へ搬送す	・両医療センターの統合については、建設場所や財政面など様々な課題への検討を行い、適切な時期に行いたいと考えています。 ・医師確保については、病院組合としても大変重要であると認識しており、引き続き医師の確保に向けて努力していきます。

	るケースがよくあるため、救急に対応できる医療センターの復活を望む。	・両医療センターの統合にあたっては、八鹿病院との連携と役割分担による救急への対応を検討していきたいと考えています。。
6	・梁瀬・和田山両医療センターを統合して新病院を建設することは大賛成。 地理的交通的利便性よりも財政的観点からインフラの整備された公有地利用を優先し、投資の大幅削減を図るべきである。 ・新病院は但馬の整形外科を集約した病院として、豊岡、八鹿病院の整形外科の入院を廃止し１５０床程度の整形外科と内科、外科、出張診療、療養病床で１５０床程度、合計３００床規模の病院とするべきである。 ・開業医との協調は重要である。	・両医療センターの統合については、建設場所や財政面など様々な課題への検討を行い、適切な時期に行いたいと考えています。 ・両医療センターを統合した病院は、但馬の中核的病院である豊岡病院や南但の中心的病院である八鹿病院との連携・役割分担を図り、朝来市域の公立病院として必要な診療機能を提供する役割を担うものと考えています。 病床数については、将来の人口や医療ニーズの動向等を踏まえ検討していきたいと考えています。 ・開業医との連携についても充分に検討を行っていきたいと考えています。
7	・両医療センターの統合は以前から議論されており、報告書のとおり機能を充実した一つの医療センターにすべきである。 ・近い将来に来るであろう超高齢化社会に備え、公共交通機関の利用に便利な場所への早期建設が必要である。	・両医療センターの統合については、建設場所や財政面など様々な課題への検討を行い、適切な時期に行いたいと考えています。 ・交通の利便性にも配慮した病院を建設したいと考えています。
8	・朝来市にも総合的な診療が可能な基幹病院が必要である。 医療過疎地から脱出することにより、人が集まり経済効果も生まれる。 但馬の中心地となるために、市民はもとより全国に発信できる先進医療を発信できる病院を作るような思い切った政策を取り込む。	・両医療センターを統合した病院は、但馬の中核的病院である豊岡病院や南但の中心的病院である八鹿病院との連携・役割分担を図り、朝来市域の公立病院として必要な診療機能を提供する役割を担うものと考えています。
9	・新病院は設備も最新式のものが導入されるが、器よりも中で働くスタッフの育成が重要である。 ・新病院の立地場所についても、住民	・病院運営にあたっては人材育成面についても十分配慮していきたいと考えています。 ・両医療センターの統合にあたっては、

	感情が悪化しないよう配慮が必要である。 ・地域連携の充実した病院づくりを期待する。	報告書で示された①必要な面積の確保②交通の利便性③災害への対応の３つの条件に合致した場所の検討を行い、住民の理解を得ていきたいと考えています。 ・病診連携についても、十分に検討を行っていきたいと考えています。
１０	・梁瀬医療センターは、平成１４年に建て替えられてから日が経っていないため、医師確保に努力を続け、存続して欲しいと考える。 和田山医療センターの老朽化に伴う建て替えの必要性は理解できるが、和田山医療センターとして建て替えることを望む。市内一つの病院に統合されても、診療科目も増えないのでは、充実するとは考えられない。 ・療養病棟におけるリハビリを土、日曜日にも行って欲しい。	・報告書では、梁瀬・和田山医療センターの２ヶ所で医療を提供するより、医療資源を１ヶ所に集約して効率的な医療の提供体制を整える方が、より診療機能の充実を図ることができるとの考えから、両医療センターを統合した病院の整備が必要であるとされています。 ・土、日の診療については、職員体制等を中心に様々な課題があることから、将来的な検討と考えています。
１１	・梁瀬医療センターは建て替えてから間もない施設であり、地域住民にとってはなくてはならない病院である。 医師確保に全力を尽くして欲しい。 和田山医療センターが老朽化に伴う建て替えならば致し方ないが、２つの病院を一つにしても医師が増えないのに診療内容が改善される見通しはないと思う。 ・和田山医療センターに代わるものは、交通の便と地形の良いところに建設して欲しい。 ・産科・小児科を新設して欲しい。 ・ベッド数は現状を確保して欲しい。 ・病院建設について、朝来市民が意見を述べる機会を増やしたり、検討会議の内容を説明する機会を持って広く意見を聞いて欲しい。	・報告書では、梁瀬・和田山医療センターの２ヶ所で医療を提供するより、医療資源を１ヶ所に集約して効率的な医療の提供体制を整える方が、より診療機能の充実を図ることができるとの考えから、両医療センターを統合した病院の整備が必要であるとされています。 医師確保については、病院組合としても大変重要であると認識しており、引き続き医師の確保に向けて努力していきます。 ・両医療センターを統合した病院の整備にあたっては、報告書で示された①必要な面積の確保②交通の利便性③災害への対応の３つの条件に合致した場所での検討を行います。 ・産科・小児科については、但馬地域全体でどうあるべきか検討を行うこととしています。

		・病床数については、将来の人口や医療ニーズの動向等を踏まえ検討していきたいと考えています。 ・両医療センターの統合については、基本構想・基本計画案を作成した段階で、パブリックコメントを実施し、広く利用者の意見を募集する予定としております。